



プロジェクト名称

笑顔のまち なこそ復興プロジェクト

プロジェクト活動概要

本プロジェクトは福島県いわき市勿来地区を対象としています。勿来地区は、東日本大震災の影響により大きな被害が生じた地区です。また、福島第一原発事故の影響により双葉町から避難してきている住民もいます。これらの要因から、復興があまり進んでいない現状があり、現在も様々な復興活動が行われています。そのため、自分たちも地元 NPO や他大学と連携しながら、地元住民に密着した復興活動を行っていきたくと考えています。

プロジェクト終了後に目標とする成果・結果 / その進捗

- ① 他団体と連携して、被災地の現状を多くの方に知ってもらう。
- ② twitter のフォロワー数, Facebook のいいねの数を 100 まで増やす。
- ③ 「なこそ お散歩マップ」を発行する。

① ICP と連携していて、留学生の方を勿来地区のイベントに参加してもらえよう調整中です。

② 現在、いいねの数が 90 近くまで増えています。これから、様々なイベントや活動が行われるので、今後も増やすことが出来ると思います。

③ 現在、「勿来地区地域史」を活用して、マップに載せる情報の整理と整理した情報の選別を行なっています。今後は、勿来地区で発行されているマップとも連携しながら、日常的に使ってもらえるようなマップを作っていく予定です。

活動状況報告&活動写真など

活動期間：2016 年 10 月 1 日 ~ 12 月 31 日

くぼたんけん (2016 年 10 月 23 日)

このイベントは、勿来地区と双葉町の住民が、年齢や立場を越えたさまざまな交流のきっかけを作ること、窪田地区や復興公営住宅が建設される酒井地区に興味をもってもらうこと、酒井・窪田地区の歴史や復興公営住宅の生活圏となる商店街などを知ってもらい、酒井・窪田地区の魅力を発見してもらうことを目的に実施しました。

イベントの参加者を募るため、自分たちで作成したビラを配布したり、地元 NPO の方に協力したりして頂き、47 名の参加者を集めることが出来ました。イベント当日はくぼたんけんマップを用いてスタンプラリー形式のまち歩きを行い、まち歩き後には参加者の方々とワークショップを行ないました。

このイベントでは、勿来地区の方や双葉町の方々と交流し、さまざまな話を聞くことが出来、貴重な時間となりました。





苗木採取&ウォーク (2016年10月30日)

福島県いわき市岩間地区に新しく作られる予定の防災緑地の活動に協力するため、苗木採取に参加しました。今回のイベントは、ドングリを集めながら、楯取(かじとり)神社やネギ畑、小浜海岸、津神社、愛宕(あたご)神社、岩間海岸などを歩きました。東日本大震災から約六年の時間が経ち、震災に対しての風化が進んできている中で、このようなイベントに参加することによって、もう一度震災について考え直すことができました。また、大人だけでなく子供たちも参加していて、子供にとっても勉強になるイベントだったのではないかと感じました。このイベントには、筑波大学の団体である「Tsukuba for 3.11」の方々も参加していて、同じ地域で活動する他大学の団体と活動をし、刺激を受けました。



芝浦祭 (2016年11月4日～11月6日)

芝浦祭では、福島の勿来地区で収穫されたお米やトマトをふんだんに使用した「なこそトマトカレー」を販売しました。昨年の経験を活かし、屋台の看板や団体の活動を知ってもらうためのチラシの作成に時間をかけたことにより、福島の食材を使ったカレーを食べていただくだけでなく学内、外の人たちに「笑顔のまち なこそ復興プロジェクト」の活動を知ってもらうことができました。



サロン祭り、現地調査 (2016年12月23日～12月24日)

12月23日に勿来地区で行われた、「なこそ希望プロジェクト2016～サロン祭り&ダンスワークショップ発表会～」に参加しました。

サロン祭りでは、会場の外でサンドイッチ・コーヒー・飲み物売り班と、カレーライス・カレーうどん・煮込みうどん班に分かれて、調理と販売の手伝いをしました。会場内では、小中学生が描いた似顔絵の展示や英会話教室、サロンでの制作物の販売が行なわれていて、賑わっていました。

ダンスワークショップ発表会では、セレノグラフィカさんや地元の小学校・養護学校・高校生によるダンスや、人形浄瑠璃や和太鼓演奏でたくさんの元気をもらいました。現地の方々などと交流し、震災に対する知識や現地の情報などを知ることが出来ました。

また、次の日には、錦須賀、岩間、小浜の3地区を見学に行き、震災復興の現状を実際に自分たちの目で確かめました。



今後の活動計画、目標、意気込みなど

今後の活動計画

2017 年 1 月 11 日 (水) 大震災の風化を超えてニーズに迫る

東日本大震災からの福島/東北の復興をテーマに毎月 11 日に開催される「結 (ゆい) イレブン」が主催で行われるイベントで、自分たちは勿来地区の現状や自分たちの活動について発表します。このイベントに参加することによって、同じ復興という目的で活動している方々と交流することが出来ればと考えています。

2017 年 3 月 11 日 (土) なこそその希望 2017

毎年 3 月 11 日に行なわれている追悼イベントに今年もイベントスタッフとして参加します。このイベントに参加することで、自分たちが東日本大震災の復興について考えている団体であるということを再認識できます。

なこそ未来マップ

自分たちが活動してきた成果を、マップにまとめるもので、被災地がどのように復興してきたかや勿来地区の地域資源を載せたお散歩マップを作成しています。今年度中には、形が出来るようにしたいと考えています。

くぼたんけんマップ

くぼたんけん 2016 では、参加者の方々に多くの意見を頂くことができました。その意見を参考にしながら、学生目線でのまちあるきマップを作成しています。今年度中には、マップが完成し印刷できるように進めています。

目標

勿来地区には、原発事故により避難されている方がいるため、既存住民と避難者のコミュニティ形成が重要な課題になっています。自分たちは、これまでの活動だけではなく、既存住民と避難者の交流イベントを継続的に行なうことによって、両者のあつれきなどを解消できたらと考えています。今後は、このような活動やこれまでとは違った関わり方ができるような活動を行っていきたいと考えています。